

# I ながおかヘルシープラン21の概要

## 1 ながおかヘルシープラン21の目的と性格

時代の変遷とともに急速な少子高齢化や生活習慣病の増大、生活様式の変化等、市民を取り巻く状況は大きく変動しています。また、健康に対する価値観も多様化しており、一人ひとりが日常生活の中で健康づくりを意識すること、そして一人ひとりの健康づくりが実現できる環境づくりが求められています。

ながおかヘルシープラン21は、市民のありたい姿「人とひと 輝く笑顔がはぐくむ 健康なまち ながおか」をめざして、自分自身の生き方として積極的に健康づくりに取り組むための目標と具体的な目標値を設定し、様々な取り組みを行うために策定した計画です。

この計画は、市民による「井戸端会議」での意見を基に検討の上、まとめられたもので、市民の幅広い健康観に基づいて構成されています。

ながおかヘルシープラン21は旧長岡市の計画として平成15年度に策定しました。その後、平成17年4月・平成18年1月の2度の市町村合併を経て新長岡市が誕生しました。計画の中間年度である19年度に旧長岡市の計画の中間評価を行うとともに、今後、新長岡市の健康づくり計画としてさまざまな取り組みを推進していきます。

## 2 計画の期間

平成15年4月～平成25年3月

## 3 計画策定と推進の視点

ながおかヘルシープラン21は、3つの視点に立って計画の策定と推進を行っています。

- ①市民参画（策定の段階から参加・参画）
- ②様々な組織や機関の連携（推進体制の整備）
- ③環境づくり（市民の主体的な健康づくりを支えるための環境づくり）

## 4 各世代のありたい姿と目標値の設定

病気の予防対策にとどまらず、家庭・地域社会・行政が一体となり個人の健康が守られるまちづくりを進めるという視点を取り入れ、乳幼児期から高齢期までの各世代と全世代共通の環境分野に応じたありたい姿を設定しました。

また、各世代のありたい姿に向かって、一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組めるよう、より具体的な「健康目標」を設定しています。そして「健康目標」を実現するために、どのような行動や生活をしたらよいかという目標と具体的な目標値を設定しています。

長岡市民のありたい姿  
人とひと 輝く笑顔がはぐくむ 健康なまち ながおか

